

第Ⅲ部

參考資料



計画策定の経過

年月日	内 容
平成 29 (2017) 年 2 月	「高齢者の暮らしと介護についての意識調査」実施
平成 29 (2017) 年 6 月 2 日	地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律公布
平成 29 (2017) 年 7 月 11 日	第 1 回栃木県高齢者支援計画策定部会 ・栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン 2 1 (七期計画)」の策定について ・栃木県の高齢者の現状について ・栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン 2 1 (七期計画)」の骨子 (案) について
平成 29 (2017) 年 10 月 13 日	第 2 回栃木県高齢者支援計画策定部会 ・栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン 2 1 (七期計画)」各論素案について
平成 2 (2017) 9 年 12 月 15 日	第 3 回栃木県高齢者支援計画策定部会 ・栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン 2 1 (七期計画)」素案について
平成 29 (2017) 年 12 月 28 日 ～平成 30 (2018) 年 1 月 29 日	パブリック・コメントの実施
平成 30 (2018) 年 3 月 8 日	第 4 回栃木県高齢者支援計画策定部会 ・栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン 2 1 (七期計画)」(案) について

栃木県高齢者支援計画策定部会 委員名簿

五十音順、敬称略

No.	団 体 名	役 職 等	氏 名	備 考
1	一般社団法人 栃木県医師会	副会長	前原 操	
2	一般社団法人 栃木県歯科医師会	副会長	川津 博亨	
3	公益社団法人 栃木県看護協会	会長	渡邊 カヨ子	
4	一般社団法人 栃木県老人保健施設協会	会長	矢尾板 誠一	
5	一般社団法人 栃木県理学療法士会	副会長	細井 直人	
6	社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会	常務理事	小林 敦雄	副部会長
7	一般社団法人 栃木県老人福祉施設協議会	副会長	古口 光夫	
8	一般社団法人 栃木県介護福祉士会	副会長	齋藤 和孝	
9	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会	会長	浜野 修	
10	NPO法人 とちぎケアマネジャー協会	会長	大山 典昭	
11	栃木県民生委員児童委員協議会	会長	日向野 文代	
12	宇都宮市	保健福祉部長	酒井 典久	
13	野木町	健康福祉課長	石渡 眞	
14	一般財団法人 栃木県老人クラブ連合会	副会長	浅井 光二	
15	公益社団法人 認知症の人と家族の会 栃木県支部	世話人代表	金澤 林子	
16	日本労働組合総連合会 栃木県連合会	事務局長	吉成 剛	
17	学校法人 国際医療福祉大学	医療福祉・マネジメント学科教授	小林 雅彦	部会長
18	栃木県議会	生活保健福祉委員会	日向野 義幸	
19	公募委員		森田 圭子	

高齢者の暮らしと介護についての意識調査（概要）

I 調査の概要

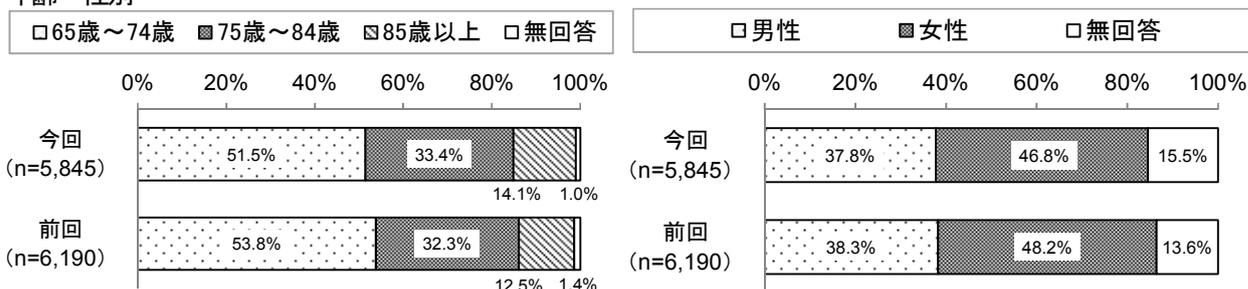
- 1 調査対象 栃木県内の第1号被保険者（65歳以上の方）10,000人（無作為抽出）
- 2 回答数 5,845人（回収率58.5%）
- 3 調査方法 郵送法
- 4 調査期間 平成29(2017)年2月11日～2月27日

II 調査の特徴

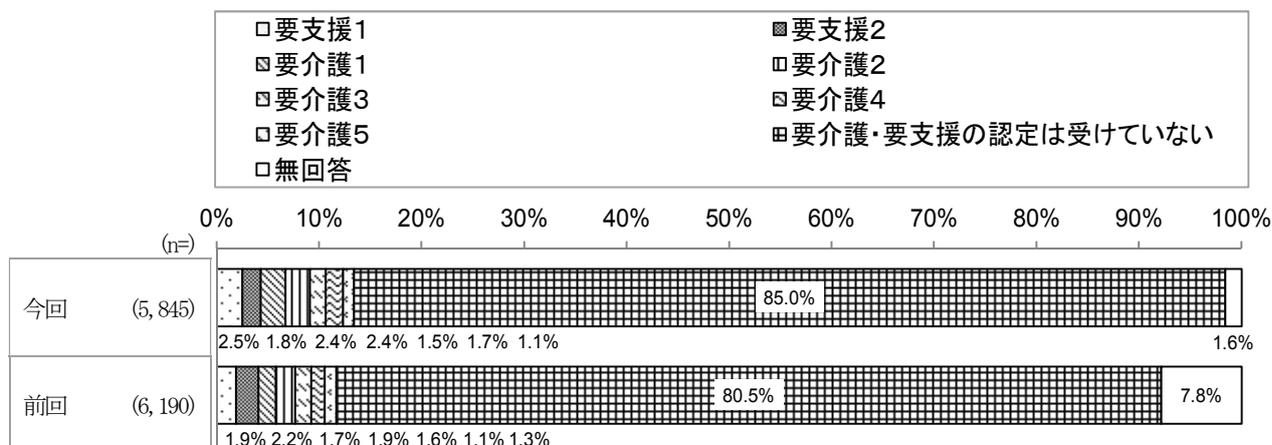
- 1 経年変化を見るため、全体の約8割の設問を継続調査項目とし、地域包括ケアシステムを構築する上で
のニーズを把握する観点から、在宅医療・介護に関する設問を拡充
- 2 一部の設問において、高齢者本人と家族の意識を比較

III 回答者の状況

(1) 年齢・性別



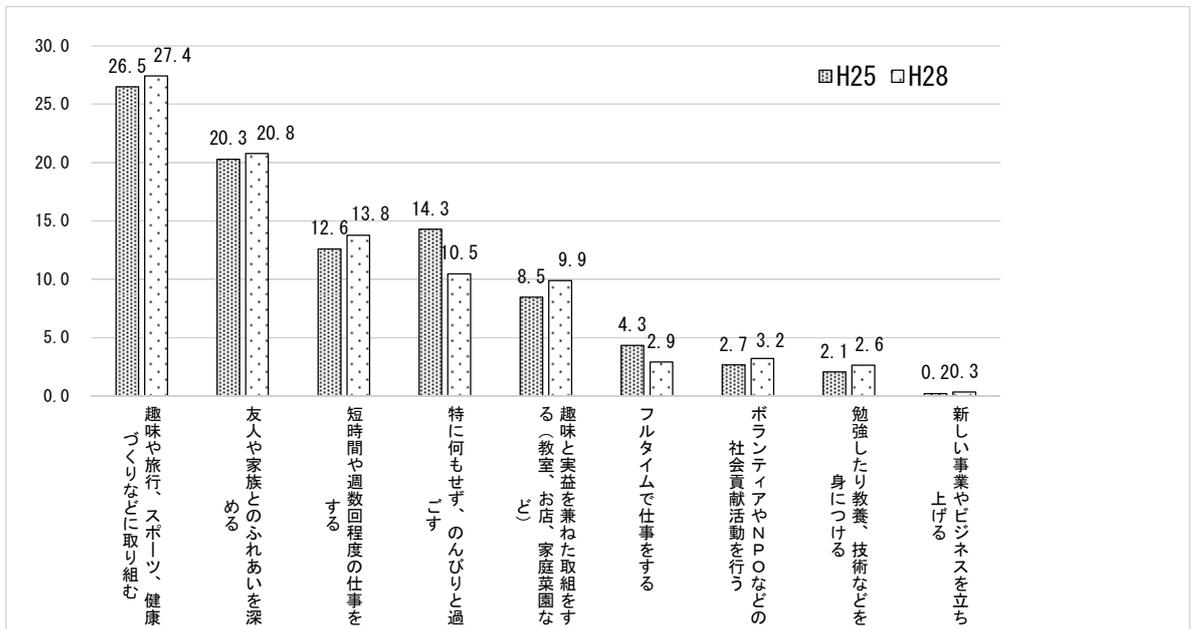
(2) 要介護認定



IV 調査結果の概要

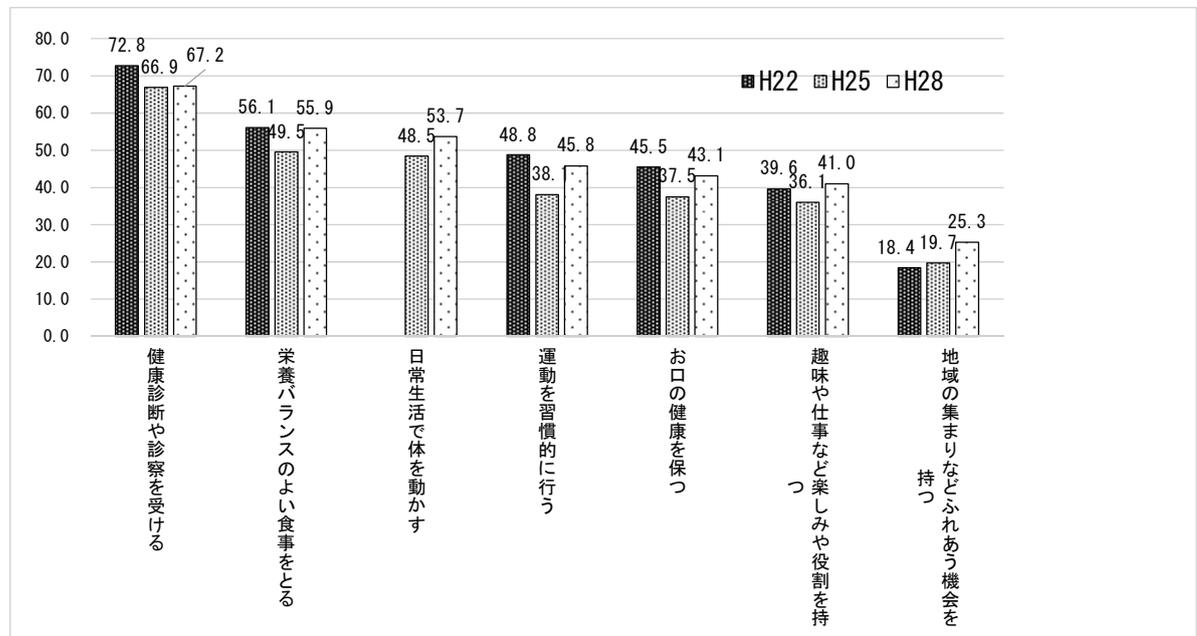
1 暮らしについて

(1) 生きがいを持ち続けるための人生の過ごし方、暮らし方



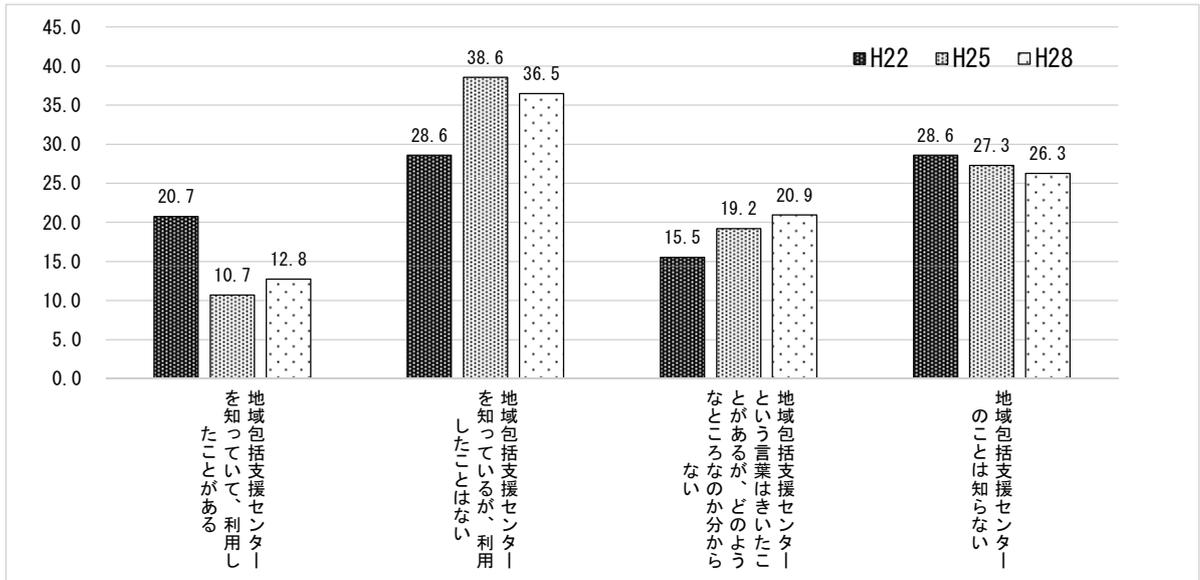
趣味や健康づくり、短時間勤務などを考えている人が増えている一方、フルタイムでの勤務を考える人は減少しています。

(2) 自立して暮らすために行いたいこと



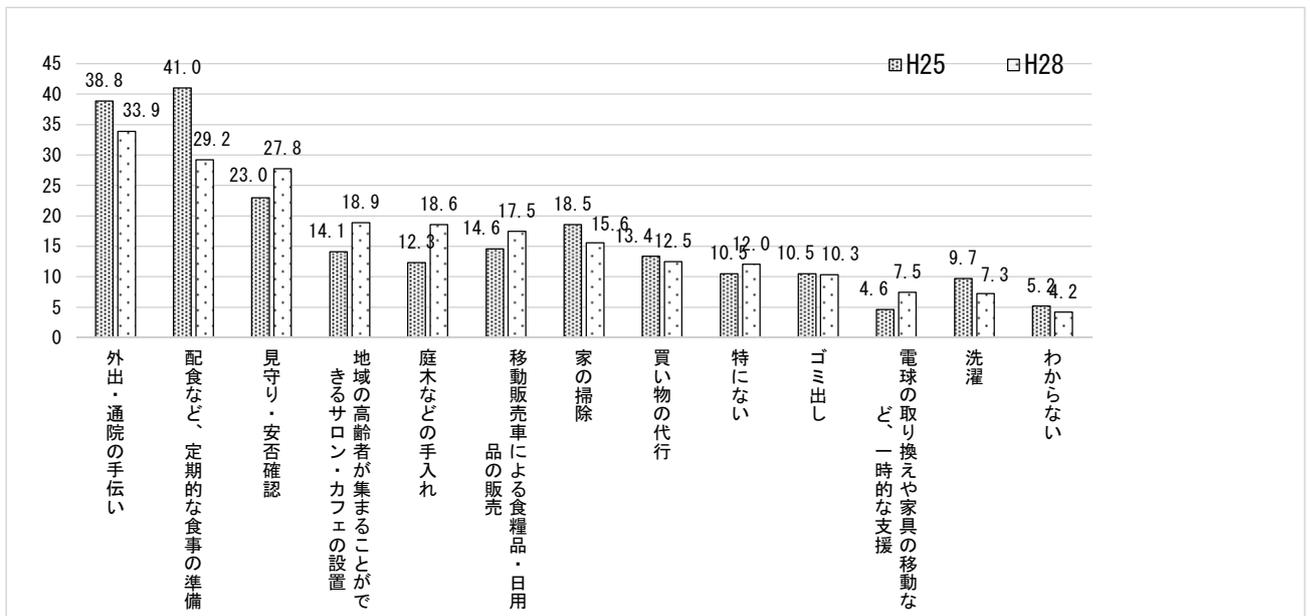
健康への配慮や運動、趣味などの活動は大きく変化はありませんが、地域でのふれあいについては徐々に増加している傾向にあります。

(3) 地域包括支援センターの認知度

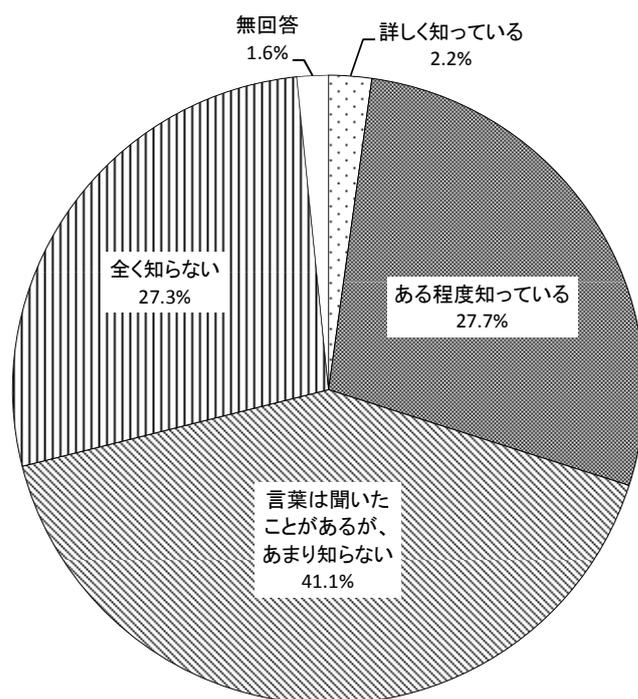


地域包括支援センターを知っているという人は増加している傾向にありますが、利用率には大きな伸びはなく、知っているがどういふところか分からないという人が増えています。

(4) 必要な生活支援サービス



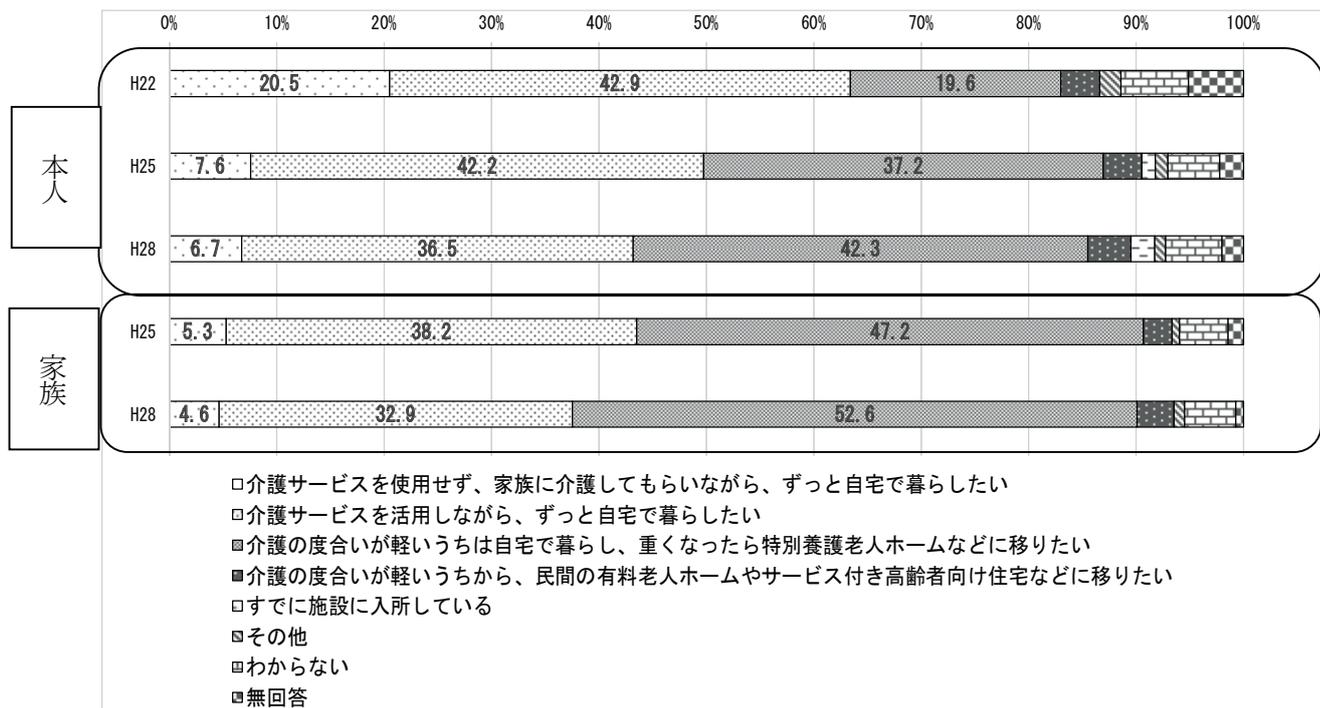
(5) 地域包括ケアシステムの認知度（新規項目）



地域包括ケアシステムを知っている人（詳しく知っている＋ある程度知っている）は3割にとどまっている状況です。

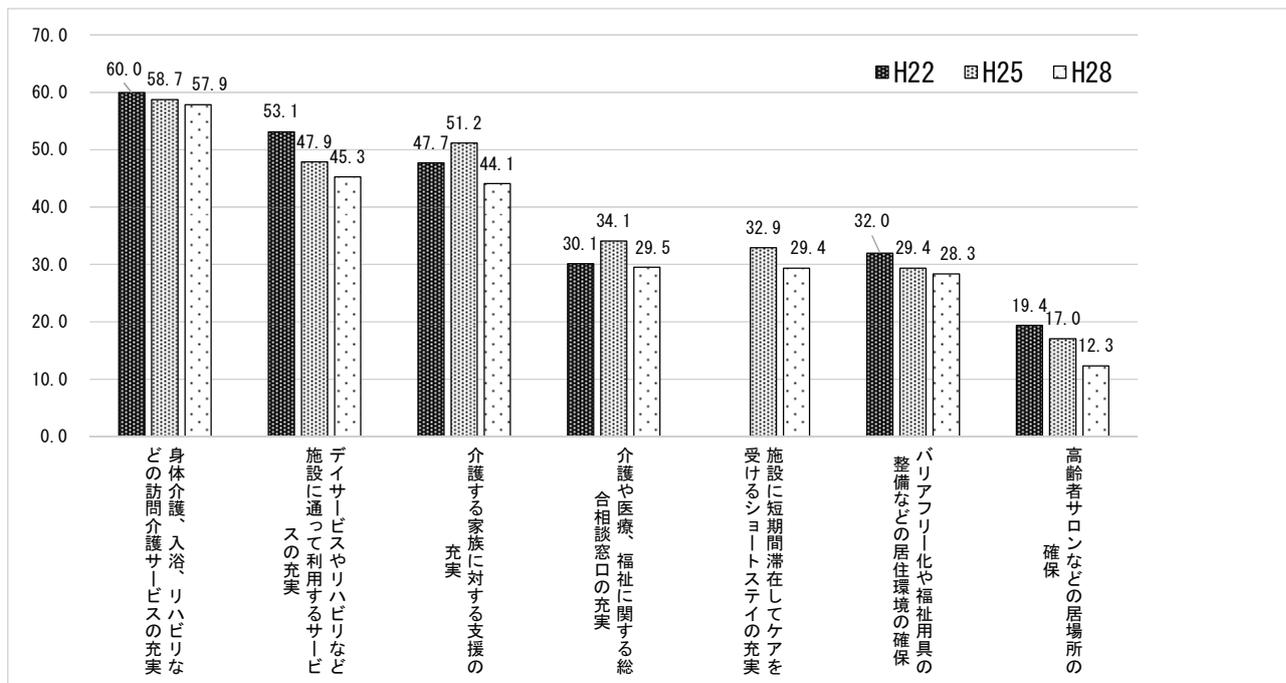
2 介護について

(1) 介護が必要になった時、暮らしたい場所



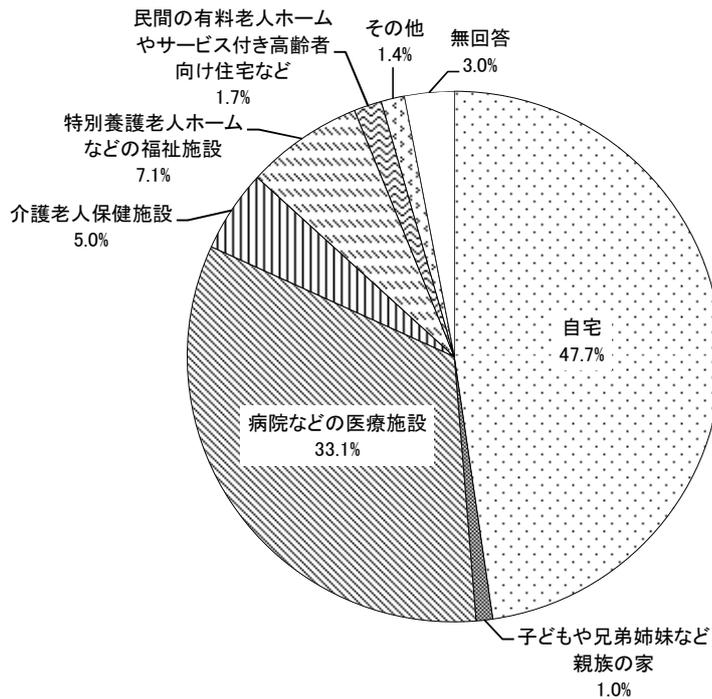
本人・家族ともにずっと自宅で暮らしたいという回答は減少が続いています。また施設への入居意向は増加していますが、介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らしたいという回答は増加しています。

(2) 介護が必要になった時、自宅で暮らすために必要なこと



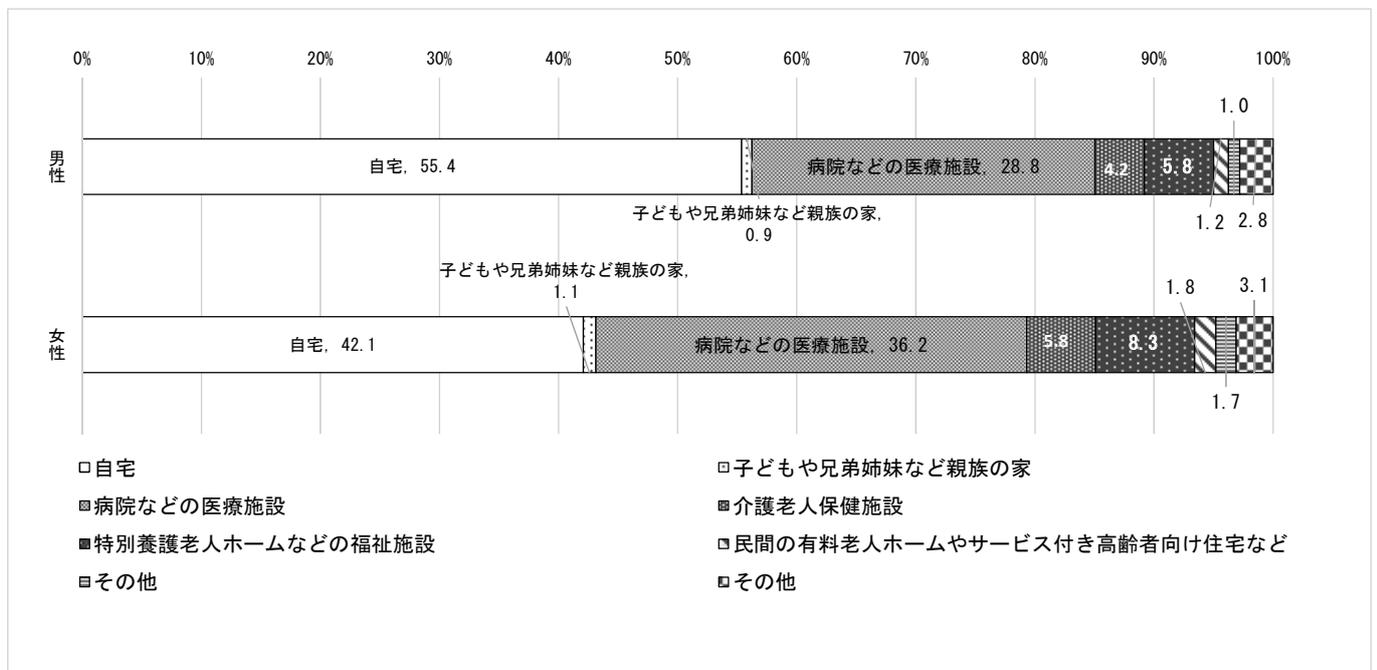
訪問介護サービスや施設利用、家族に対する支援などのニーズへの回答が多い一方、介護が必要となった場合にはサロンなど居場所確保のニーズは下がっている状況です。

(3) 最後を迎える場所（新規項目）



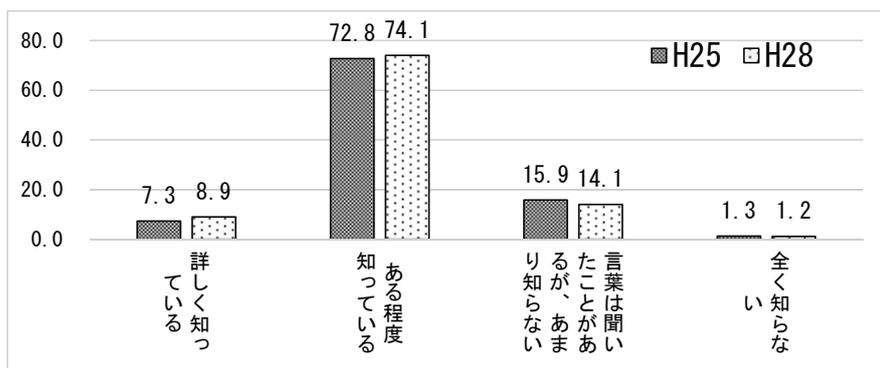
半数が自宅を希望していますが、病院など施設を希望する人も半数います。また、男女別に見ると女性の方が自宅を希望する割合が少ない状況です。

(参考) 最期を迎える場所（男女別）

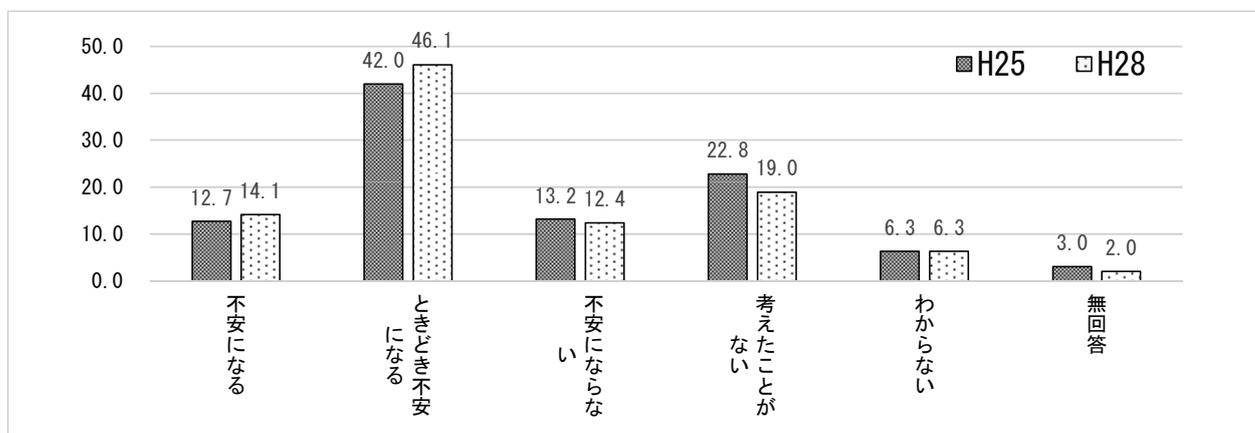


3 認知症について

(1) 認知症について、どの程度知っているか

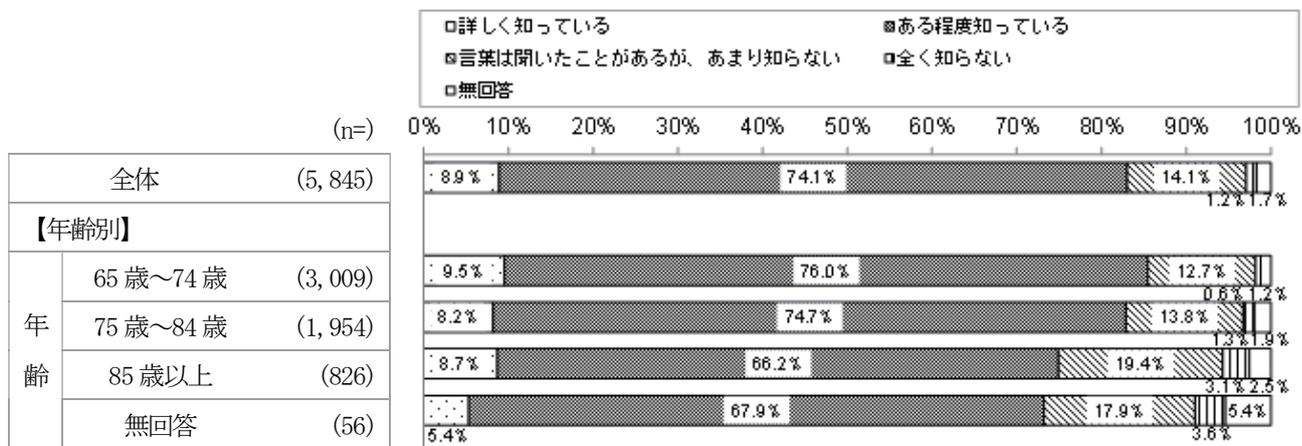


(2) 認知症に対する不安感

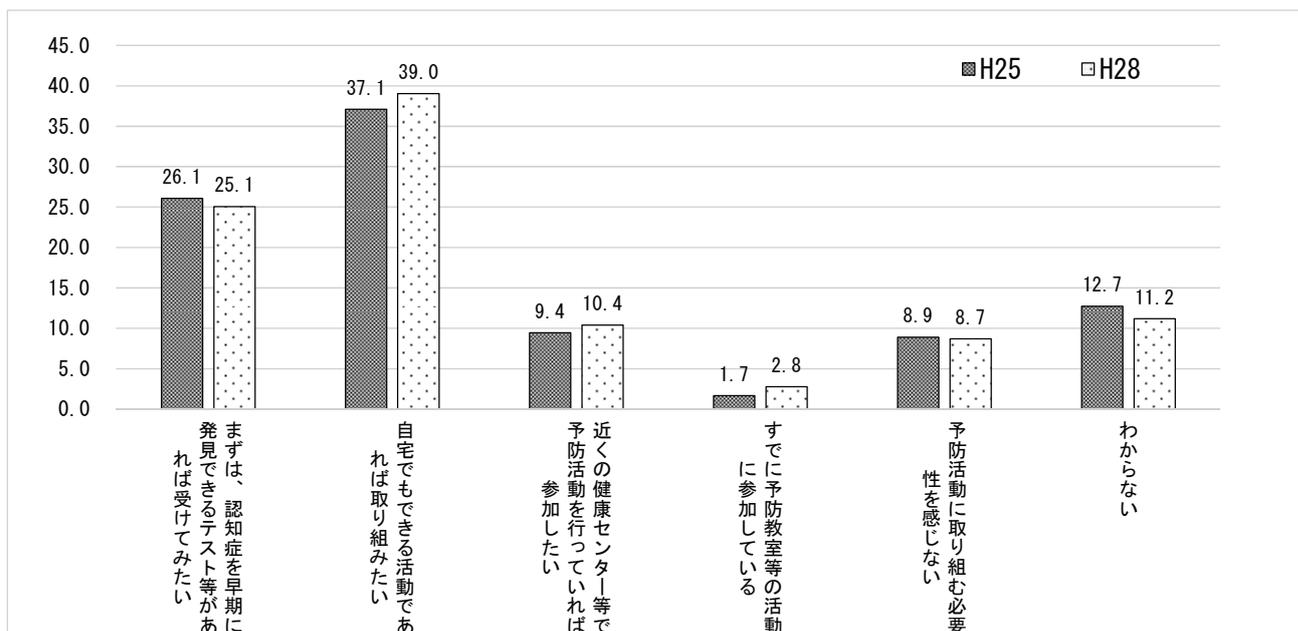


認知度・不安感ともに大きな変化はありません。なお、年代別に見ると、年齢が高くなるほど認知度は低くなる傾向にあります。

(参考) 認知症に対する不安感 (年代別)

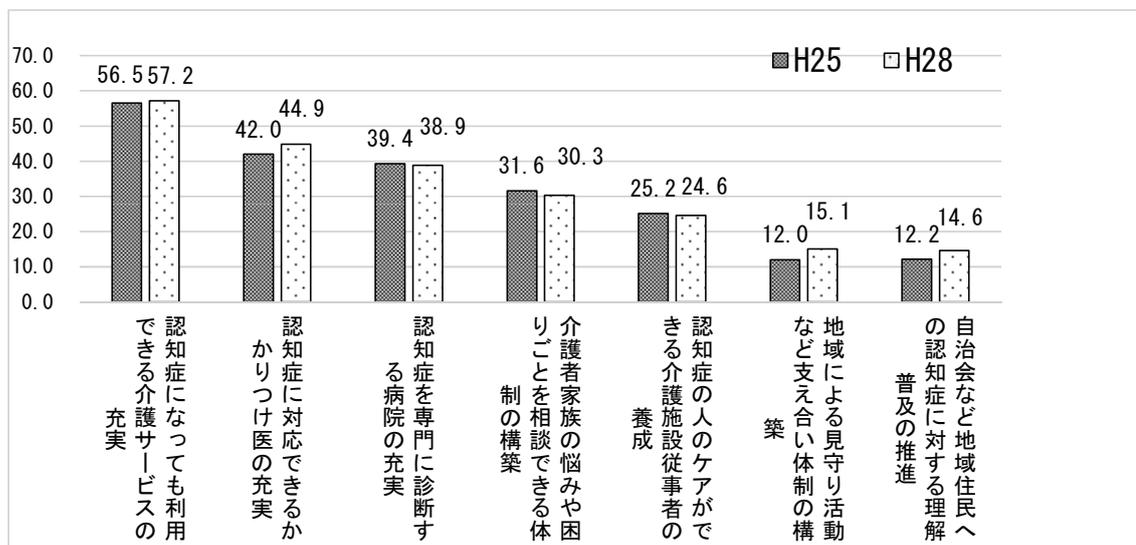


(3) 取り組みたい認知症の予防活動



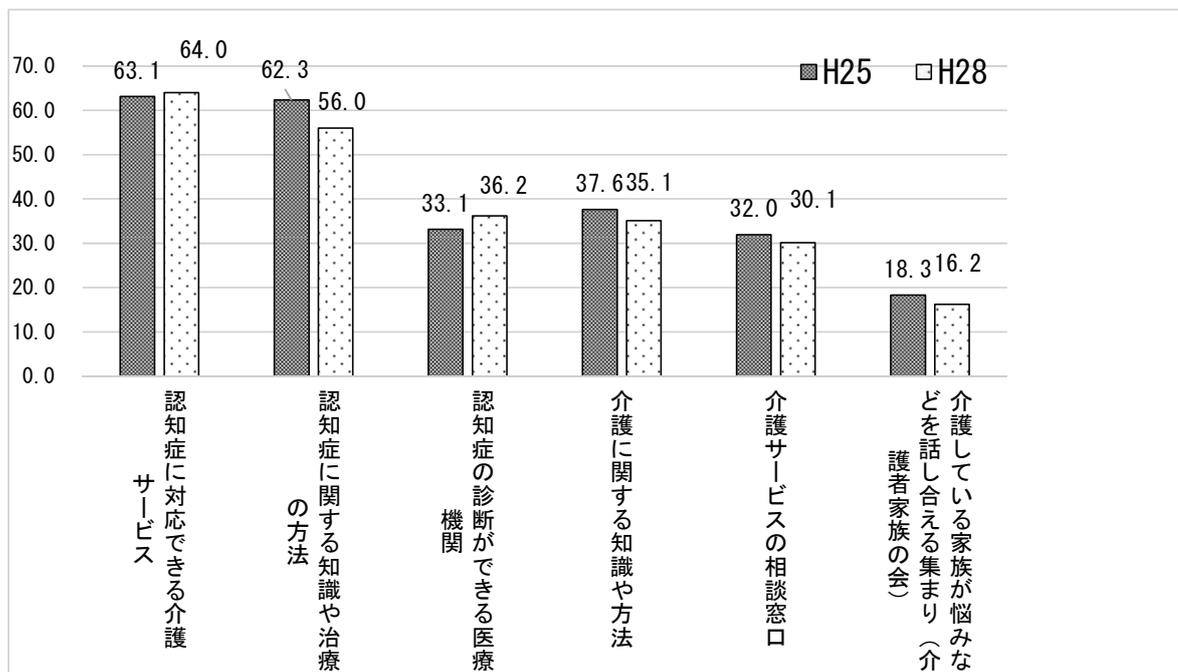
大きな変化はありませんが、予防教室等への参加や取組の必要性への理解が進んでいない状況です。

(4) 認知症になっても安心な地域づくりのために必要なこと



介護や医療に関するサービスについての回答が多い状況ですが、支え合いの体制構築や理解促進などの回答が増加している傾向があります。

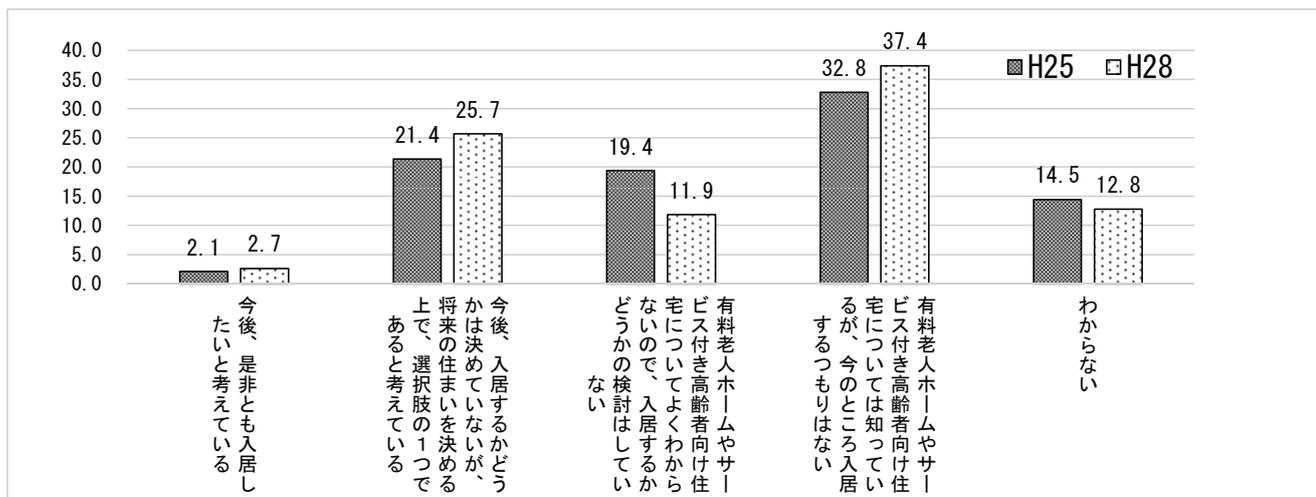
(5) 家族が認知症になった時に知りたいこと〔回答者：家族〕



前回の調査と大きな違いはありませんが、介護や医療に関するサービスについてのニーズが高い状況です。

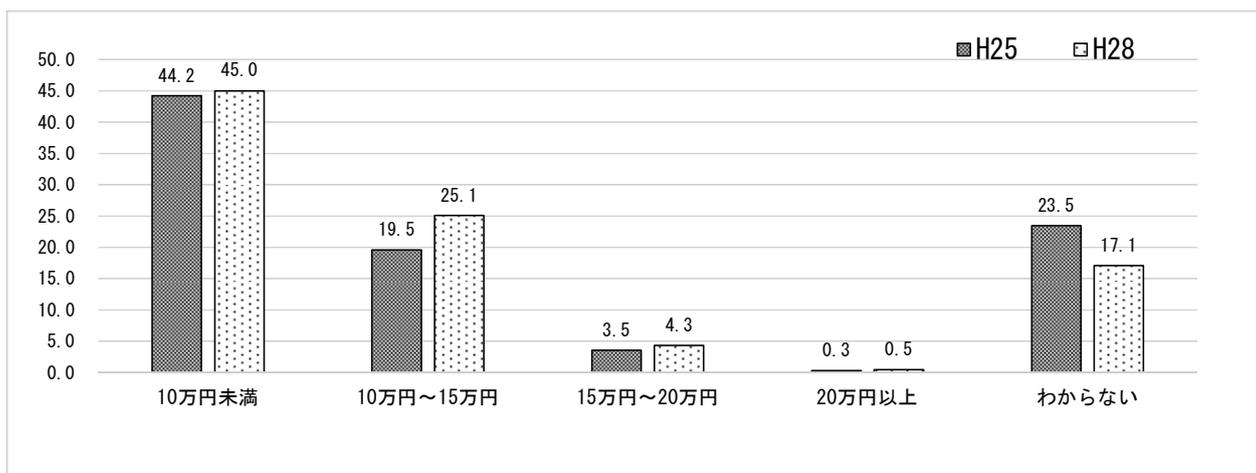
4 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅について

(1) 入居に対する考え

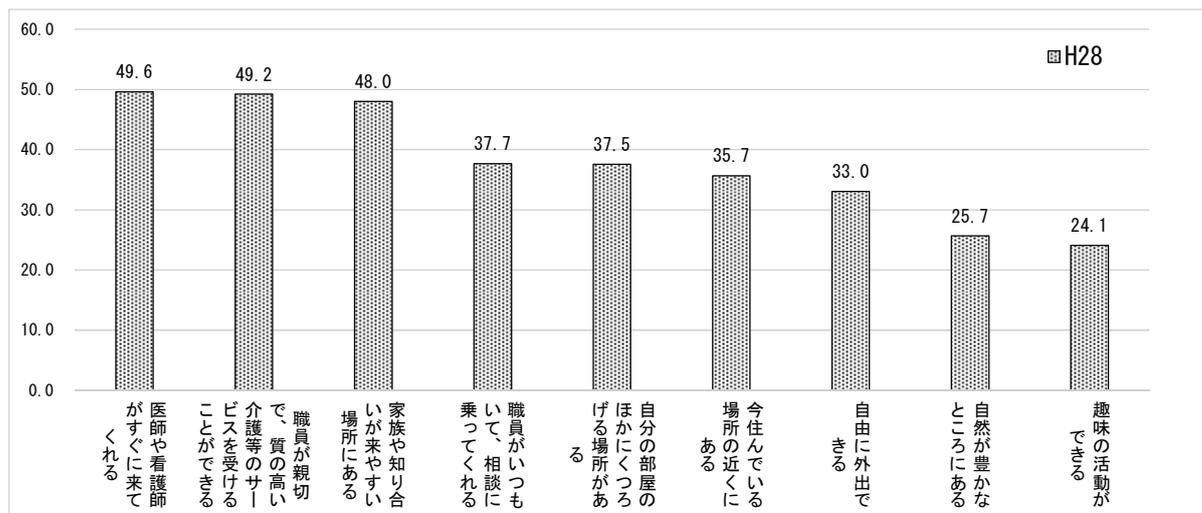


入居を考えている割合には大きな変化はない一方で、知っているが入居するつもりはないという回答が増加しています。

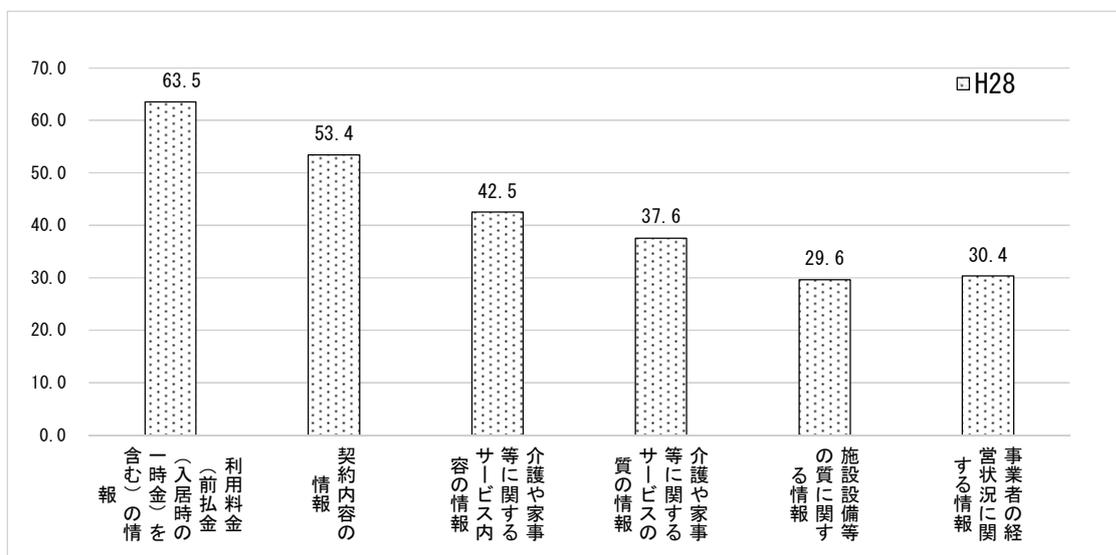
(2) 負担してもよい利用料金（月額）



(3) 選ぶ際に重視すること（料金以外）

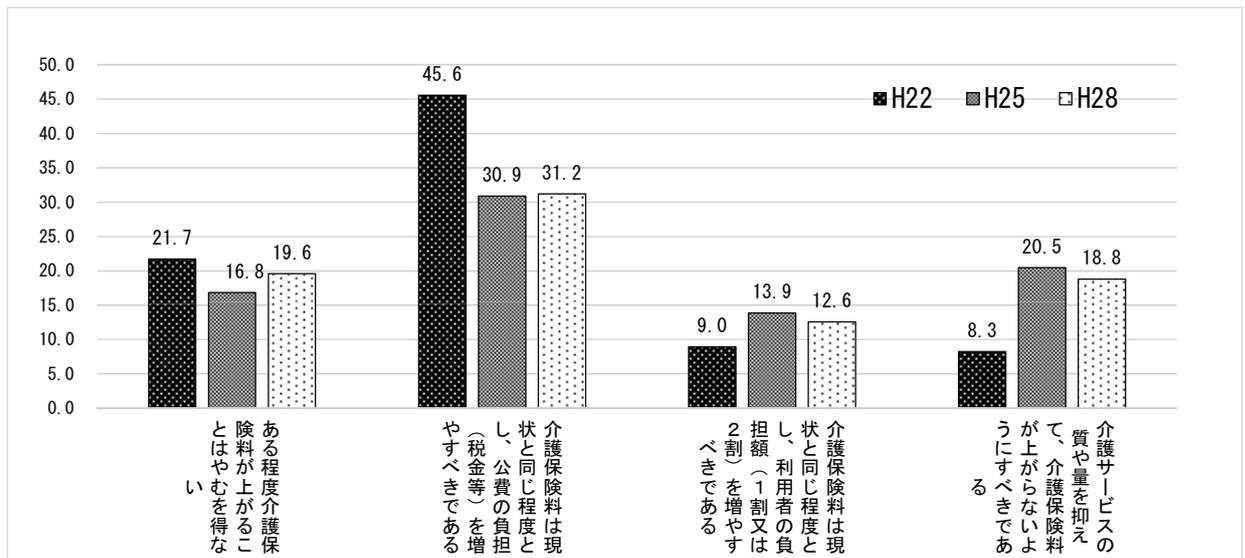


(4) 欲しい情報



5 介護保険料について

介護保険料負担への考え方



公費負担を増やすべきという回答が最も多い一方、保険料を上げることや利用者の負担を増やすという考えを持つ人は多くない状況です。

VERY 
GOOD
LOCAL

とちぎ

栃木県高齢者支援計画
「はつらつプラン21(七期計画)」

平成30(2018)年3月発行

編集・発行 栃木県

〒320-8501

栃木県宇都宮市埜田一丁目1番20号

保健福祉部高齢対策課 電話 028-623-3148